



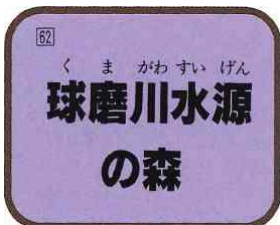
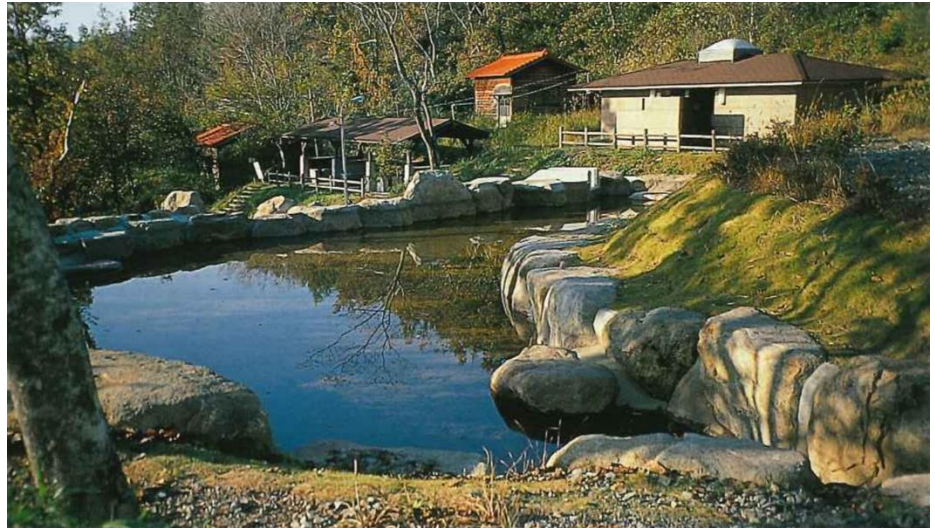
いちふさやま
市房山

[所在地] 球磨郡水上村湯山
[広さ] 800ha
[主な施設] キャンプ場、駐車場
[周辺のみどころ] 市房ダム、白龍王橋、白龍妃橋
[交通] 人吉市から車で約1時間

ブナやヒメシャラの林相が美しい自然の宝庫

市房山(1722m)は宮崎県境にそびえる県内第二の高山で、「お嶽さん」の愛称で村人に親しまれてきた霊峰です。山頂からのながめは素晴らしく、人吉盆地と周りの山々が見渡せます。ツゲやブナ、ヒメシャラの美しい赤褐色の木肌は、高度を増すにつれて変化していきます。春はツクシアケボノツツジ、秋は紅葉、冬は樹氷と季節が織りなす美しい自然模様を堪能することができます。

中腹には縁結びの神・市房神社があり、ふもとの抜川を渡って神宮までの約2kmの坂道の両側には、樹齢数百年を越えるといわれる老杉がそそり立っています。夏は避暑地として多くの人達に親しまれています。



くまかわすいげん
球磨川水源の森

[所在地] 球磨郡水上村江代
[広さ] 75ha
[主な施設] 遊歩道、駐車場、
[周辺のみどころ] 白水神社
[交通] 人吉市から車で約2時間

苔むした岩から生きものが誕生するかのよう
に水が噴き出す

球磨郡水上村は、北側に水上越(1458m)、石楠越(1391m)等が連なっていて、その稜線を境にして隣の泉村五家荘と接しています。この一帯は九州の屋根で、平地は少なく最も山深いところです。日本三急流のひとつ球磨川の源流はここにあります。苔むした岩と岩の間から生きものが誕生するかのよう

に水が吹き出しています。また、ヤマメ釣りの絶好地で、釣りマニアの穴場になっています。球磨川水源にのぼる途中の古屋敷からは、二つの滝からなる白水滝があり、白龍王橋と白龍妃橋が架かっています。この周辺は四季折々の景観が楽しめ、自生し春から夏にかけて開花するシャクナゲは特に見事です。



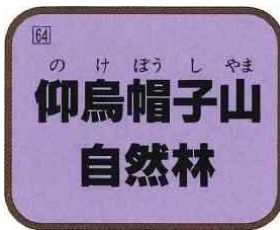


[所在地] 球磨郡あさぎり町深田東
[広さ] 35ha
[主な施設] 遊歩道、展望台、
 駐車場
[周辺のみどころ] 高山運動公園、古墳塔群
[交通] 人吉市から車で20分



相良富士と呼ばれ、親しまれてきた球磨地方の秀峰

球磨盆地の中央にある小高い丘陵の山が高山(275m)です。主にヒノキでおおわれていますが、保安林改良事業によりクヌギ、ヤマグリ等の広葉樹も植栽されています。高山は相良富士と呼ばれ、古くから球磨の人々に親しまれてきました。頂上の高山公園からは、人吉盆地が一望でき、春は桜やツツジが盆地を彩ります。眼下に蛇行する球磨川、豊かにひろがる水田、点在する集落、正面には白髪岳や黒原山などの山々、東には市房の峰も眺めることができます。高山の近くには、多目的体育館・運動公園が整備され、地域住民の休養、運動およびレクリエーションの場となっています。また、村外からも多くの親子連れが訪れます。



[所在地] 球磨郡相良村四浦西
[広さ] 75ha
[主な施設] 遊歩道、駐車場
[交通] 人吉市から車で約40分。山頂まで徒歩約2時間



昔から神山として崇められ、山頂には石仏も

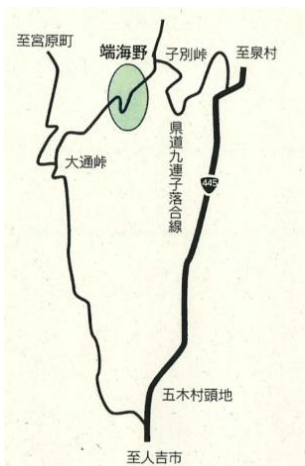
球磨三山の一つ仰烏帽子山を含む標高800mから1300mの位置にあります。仰烏帽子山は、球磨郡相良、山江、五木三村にまたがる山で、地元では「のけぼし」と言われています。その昔より神山として崇められ、山頂と仏石の頂には石仏が祀られています。山頂からは、球磨盆地や市房山、白髪岳、雲仙岳、さらには不知火海が眺望できます。(球磨三山:市房山、白髪岳、仰烏帽子山)

仰烏帽子山自然林一帯は、カルスト台地で鍾乳石が露出し原生林の中には、シヤクヤクやフクジュソウなどの植物が群生し、秋にはドウダンツツジの紅葉がみられます。登山道からはカルスト台地の光景や溪流の水と植物が観察できます。



165 たん かい の
端海野

[所在] 球磨郡五木村端海野
[広さ] 約75ha
[主な施設] キャンプ場、遊歩道、駐車場
[周辺のみどころ] 白滝鍾乳洞、白滝公園
[交通] 熊本市から車で約1時間40分



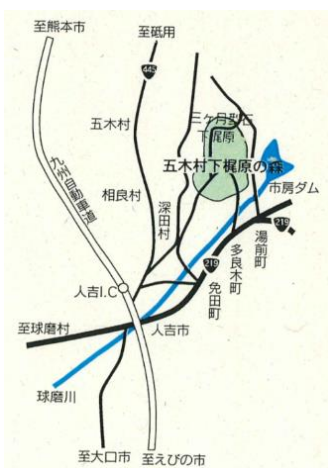
標高1000mの大自然と溪流の清き流れ

標高1000m前後の高地に位置し、多くはコナラなどの落葉広葉樹で覆われています。またアカマツ林も見られ、変化に富んだ森林景観を楽しむことができます。この大自然の中に、端海野自然森林公園があり、バンガロー、キャンプ場、宿泊施設(端海野ハウス)、さらにツゲ園、シャクナゲ園、ゼンマイ園などがあります。森林の中には、東屋や遊歩道もあり、森林浴やバードウォッチングを満喫できます。川辺川の水源となっている一帯の溪流にはヤマメの放流も行われており、ヤマメ釣りの醍醐味を味わうことができます。近くにある高さ30mの大滝もみどころのひとつです。



166 いっ き むら
五木村
しも かじ わら
下梶原の森林

[所在] 球磨郡五木村下梶原
[広さ] 1806ha
[主な施設] 駐車場
[周辺のみどころ] 白蔵峠、天狗岩、小原の吊橋
[交通] 人吉市から車で約1時間30分



モミ、ツガ、ナラなどが繁り、ニホンカモシカも生息

県有林として、広い面積を有する山です。屋根沿いに大規模林道ができてから、交通の便が良くなり親しみやすくなりました。春の新緑秋の紅葉の季節はとくにすばらしく大自然を満喫できます。

モミ、ツガ、ナラ等の老木が見られます。近くにある天狗岩は、四季の変化に富み、高さ100mの石灰岩が絶壁にそびえています。

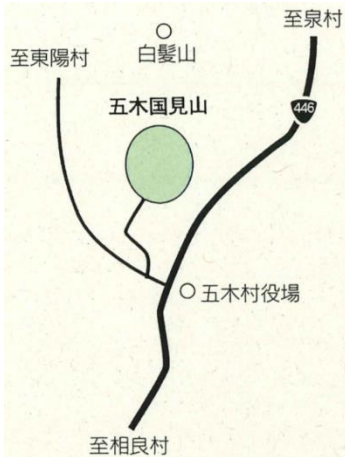
また、山深い谷間に架けられた全長62m、高さ40mの小原の吊橋では、鳥の声やせせらぎを楽しむことができます。シカやニホンザル、他では見ることの稀なニホンカモシカもいます。また、溪流ではヤマメ釣りもできます。





いつきくにみやま
五木国見山

[所在] 球磨郡五木村乙
[広さ] 10ha
[周辺のみどころ] 白滝自然公園
[交通] 人吉市から車で約1時間20分。登山口から山頂まで約40分



スギやヒノキの美林が広がり、幻のキノコイワタケも自生

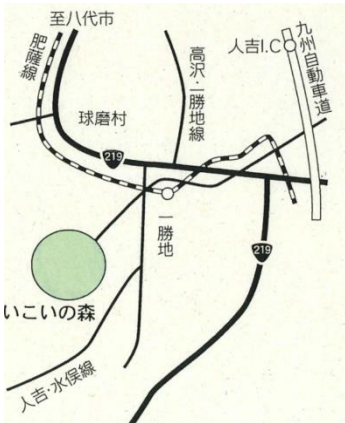
熊本県内に国見山という山は数多くあります。五木国見山(1241m)は、五木村のほぼ中央を占め、九州脊梁山地の北西部にあたる端海野付近から続く山塊です。五木の国見山は五木五家荘県立自然公園内にあり、沢や溪谷の美しさは格別です。スギやヒノキなどが茂り、幻のキノコと呼ばれる貴重なイワタケも自生しています。

山頂まで2時間の道のり。登山道は、ハイカーばかりでなく、山仕事やイワタケ採りなど地元の人にも利用されています。



いこいの森

[所在地] 球磨郡球磨村一勝地
[広さ] 9ha
[周辺のみどころ] 柴立姫神社
[交通] JR一勝地駅から車で30分



モミ・ツガなどの原生林が広がる自然教育林に隣接

球磨村は県南部に位置し、総面積207.73km²で、県内では五木村に次いで二番目に大きな村です。その面積の約87%が山林で村全体が山岳地帯となっています。

村では、牧場に隣接する9haの森林を整備し、「いこいの森」としています。いこいの森の近くには、森林管理署によって昭和63年度から整備された自然教育林がオープンしており、アカマツ、モミ、ツガなどの原生林が広がっています。また、村の生産材の主流であるスギやヒノキも植林されています。





[所在地] 球磨郡球磨村大無田
[広さ] 18ha
[主な施設] 野外音楽ステージ
[周辺のみどころ] 球泉洞
[交通] JR渡駅から車で約10分



毎年春に野外ステージで森と花のコンサートが開かれる

JR渡駅から車で約10分ほど走ると、大無田地区の佐土野高原に着きます。この一帯には、クヌギやナシ、竹の林が広がり、菜の花も植栽されています。

高原の一角には野外音楽ステージがあり、1993年から、毎年春に「森と花のコンサート」が開かれています。これは森と花を愛し、音楽を愛する人々のオリジナルコンサートで、球磨郡内や人吉市から多くの人が集まります。佐土野高原は、学校や保育園の遠足にも利用され、休日には家族連れのにこいの場になっています。

渡駅の近くには、くま川下りの発船場もあり、くま川下りも楽しめます。



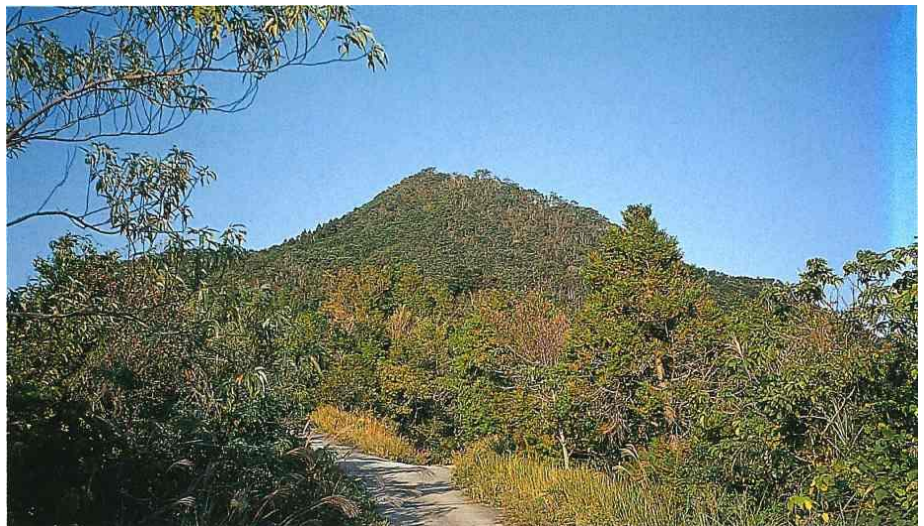
[所在地] 天草市久玉町、魚貫町
[広さ] 0.7ha
[主な施設] 遊歩道、展望所、駐車場
[周辺のみどころ] 牛深海中公園、久玉城跡
[交通] 天草市役所から車で約1時間

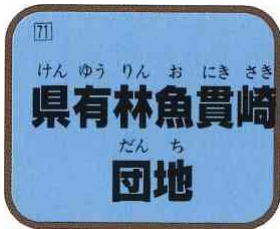


タブ、クス、シイ、モチ、カシなどの原生林が広がる

タブ、クス、シイ、モチ、カシなどの原生林が広がる権現山(403m)は、天草市の旧牛深市の中心に位置する山です。権現とは神仏が仮に人などの姿を借りて世に現れることで、この山は民衆の生活と関係が深いようです。山頂付近にはタブ、クス、シイ、モチ、カシなどの原生林があり、中には高さが20から30mに及ぶものや、「夫婦椎の木」と呼ばれる樹齢300年の銘木もあります。

山頂の展望所からの眺望は雄大で、北西には野母半島(長崎)が望め、南東には長島(鹿児島)が一望できます。また、林内には遊歩道が整備され、森林散策には格好の場となっています。





[所在地] 天草市魚貫町
[広さ] 59ha
[主な施設] 遊歩道、休憩所
[周辺のみどころ] 魚貫崎海水浴場
[交通] 天草市役所から車で約1時間



潮風に吹かれて、長崎半島の野母崎も見える景観の地

牛深市の北西に突き出た魚貫崎の一角に、ヒノキを中心とした魚貫崎の県有林があります。このあたりは、潮風が強いので、ヒノキのほかはシャリンバイやシバ類などの低木が繁っています。

遠見岳には、江戸時代の貿易船監視・難破船救助のための遠見番所跡もあり、又、頂上からの眺望はすばらしく、晴れた日には長崎半島の野母崎も見えるほどです。遊歩道や休憩所も整備されており、よく利用されています。休日には、家族連れやグループでもにぎわいます。近くに、魚貫崎レストハウスがあり、地元で獲れた新鮮な海の幸が味わえます。



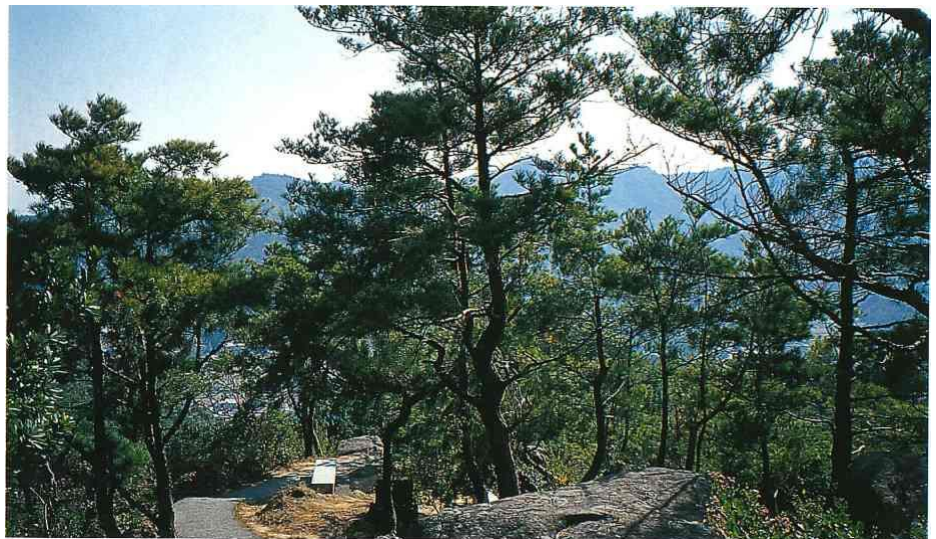
[所在地] 上天草市松島町合津
[広さ] 1.3ha
[主な施設] 遊歩道、アスレチック、駐車場
[周辺のみどころ] 天草パールマリア館、海中水族館シーダーナツ
[交通] 熊本市から車で1時間半



藍より青い天草の海と島々を一望できる

雲仙天草国立公園内に位置する千巖山は、天草上島の玄関口上天草市松島町にあり、山域の北面は海へ広がっています。登山道の木立の中には、天草の象徴ヤブツバキの古木が見られます。山頂をとりまく展望広場一帯は、松林をぬうように遊歩道が1.2km程整備されており、森林散策には絶好の場所です。4月から5月になると、ミツバツツジが遊歩道を歩く人々の目を楽しませてくれます。頂上からの眺めは、天草五橋と自然の島々との調和が実に見事です。

駐車場の近くには、アスレチック広場が整備されていて、ご家族連れやグループで楽しめます。





[所在地] 天草市有明町上津浦
[広さ] 25ha
[主な施設] 展望台、駐車場
[周辺のみどころ] サンタマリア館
[交通] 上天草市松島支所から車で約35分



老岳の山頂から360度のパノラマが広がる

上天草市松島町から天草市有明町赤崎へと進み、産交バス天草市有明支所前で下車すると、老岳登山口の標識があります。支所の前を通過して2キロ程度進むと老岳登山道の標識が立っていて、そこから左折すると車も通る登山道を徒歩で約2時間で山頂です。

なだらかで優しい山容の老岳。天草第二の高峰で、標高586.2mです。山頂の展望台からの眺めはすばらしく、南は天草上島の倉岳、龍ヶ岳、さらに不知火海をへだてて、八代、芦北の山々まで360度のパノラマ風景を楽しむことができます。近くには馬越伝説で知られる老岳神社があり、見事なアカガシ林の間に神殿が建っています。



[所在] 上天草市姫戸町姫浦
[広さ] 28ha
[主な施設] キャンプ場、管理棟、バンガロー、テントサイト
[周辺のみどころ] 不動の滝、権現鍾乳洞
[交通] JR三角駅から車で約40分



観海アルプスから天草五橋が見渡せる

気候の温暖な姫戸町の西境に位置する念珠山脈は、眼下に八代海が望めることから観海アルプスと呼ばれています。この観海アルプスには、九州自然歩道がつけられ、山々の尾根づたいに縦走するコースとなっています。観海アルプスのちょうど中間地点に白嶽はあり、展望所が設置されています。展望所からの眺望は抜群で、青い海に浮かぶ大小の島々、天草五橋、遠くは水俣、鹿児島まで見渡すことができます。

白嶽の急坂を下りたところには不動の滝があり、清冽な水しぶきをあげています。このほか、権現鍾乳洞や小さな湿原など見どころも沢山でハイキングや森林浴に最適。師走には歩こう会も開催されます。白嶽山頂には白嶽森林公園が整備されています。



75

龍ヶ岳

[所在] 上天草市龍ヶ岳町大道
[広さ] 5ha
[主な施設] 天文台、バンガロー、アスレチックコース、駐車場、レストラン、野外ステージ
[周辺のみどころ] 郷土民俗資料館、権現山、鍾乳洞
[交通] JR三角駅から車で約1時間



天体観測もできる山頂で、アウトドアライフを満喫

観海アルプスの主峰・龍ヶ岳(470m)は、春は桜、秋は紅葉と四季折々の美しい装いをみせてくれます。別名天草富士と呼ばれ、その名のとおり、麓から見上げる形は富士山そっくりです。頂上の展望台からは御所浦や樋ノ島、広い八代海の向こうには九州山地が遠望できます。

山頂一帯は「星の里」として整備され、バンガローやアスレチック、テニスコート、ログハウスや九州自然遊歩道のハイキングコースもあり、家族で気軽にアウトドアライフが満喫できます。また、キャンプ場から300m先には、ミュージアム天文台があり、恵まれた環境の中でスケールの大きな天体観測ができます。



76

小ヶ倉観音の森

[所在地] 天草市栖本町
[広さ] 約158ha
[主な施設] 駐車場
[周辺のみどころ] 倉岳山頂もみじ公園
[交通] 天草市役所から車で約40分



倉岳の北面にある栖本町の古刹

小ヶ倉観音は、栖本町の中心部から北東へ約5km、倉岳町との境にある天草最高峰倉岳(標高682m)の北面にあります。倉岳の林道の分岐点から4kmほどの所に観音堂が建ち、背後の崖壁の中央に3種の梵字と謎めいた図形が描かれています。

ここは古くから栖本の人々の信仰を集めてきた霊場で、観音堂の周りにはモミジやサクラ、ヒノキ、スギなどが茂り、あたりは静けさに包まれています。観音堂のすぐ近くには、滝があり、夏には涼を求める人や滝にうたれる人でにぎわっています。



77

みどりの村

[所在地] 天草市新和町小宮地

[広さ] 約1ha

[主な施設] バンガロー・キャンプ場、遊歩道、テニスコート

[周辺のみどころ] 歴史民俗資料館

[交通] 天草市役所から車で約20分



竜洞山の中腹にあるファミリーレジャーの拠点

竜洞山に登る途中、中腹から右手にみどりの村が広がります。この地域は雲仙天草国立公園に指定されており、不知火海を一望できる景勝地です。

天草地方に自生するカシ・シイ・コナラなどの樹木を主体とした、熊本海岸地域の典型的な森林がみられます。みどりの村は、テニスコートや、キャンプ場、バンガローなどのアウトドア施設、アスレチック施設や動物園などの多彩な施設が広い敷地に点在。またその周辺には遊歩道や芝生広場など森林浴に最適な森林が整備され、島内外の人々のふれあいの場になっており、四季を通じて大人から子供たちまで思う存分楽しめます。竜洞山の山頂には、その昔、竜が住んでいたという洞窟もあります。



78

富岡城跡 (城山)

[所在地] 天草郡苓北町富岡

[広さ] 7ha

[主な施設] ビジターセンター、遊歩道、駐車場

[周辺のみどころ] 頼山陽詩碑、林芙美子文学碑、四季咲岬公園

[交通] 天草市役所から車で約40分



シイ・カシの古木が繁る城跡で苓北の歴史をしのぶ

富岡城跡は苓北町の北西に位置した富岡半島にあり、雲仙天草国立公園の一部に指定されています。林内には遊歩道が整備されており、森林散策が楽しめます。遊歩道沿いには郷土資料館があり、古文書類民俗資料など約300点が展示されています。

城跡のシイ・カシの老木は、往時の歴史が感じられます。富岡城跡に登ると、苓北町の中心部が眼下に広がります。静かな内海に細く伸びた巴崎、男性的な外海の東シナ海。富岡半島の海岸線の美しさと、下島の山々が一望できるおすすめの場所です。



79
しらつる はままつばやし
白鶴浜松林

[所在] 天草市天草町高浜
[広さ] 2ha
[主な施設] キャンプ場、駐車場
[周辺のみどころ] 大江天主堂、
天草ロザリオ館、下田温泉
[交通] 天草市役所から車で約
50分



海の青と白い砂浜に緑の松林がマッチする

天草灘の荒波で打ちあげられ、さらに海風によってできた砂丘に飛砂防止として、昭和6～7年に松が植林され、育てられたものです。海の青、白い砂浜に緑の松林がマッチしています。白鶴浜とは、弓なりに広がる高浜の海岸が、鶴が羽を広げた形に似ていることから付いた名前です。松林は総延長0.8kmにおよびビーチサイドは、1.3kmで県下第一の海水浴場として知られています。

松林は監の岬キャンプ場になっており、周辺には民宿もあり、夏はマリンスポーツを楽しむ若者や海水浴の親子連れでにぎわいます。また、海に突き出た岬にある「十三仏公園」からは澄みきった天草の海が一望できます。



80
かわうらふるえ
河浦古江
だいじんぐう
大神宮の森

[所在地] 天草市河浦町久留
[広さ] 2ha
[主な施設] 駐車場
[周辺のみどころ] 崎津天主堂
[交通] 天草市役所から車で約40
分



カシ、シイなどの照葉樹がうっそうと繁る

古江大神宮の森は、古江大神宮の造営(昭和4年)以前から、山岳信仰の霊山として拝められ、禁伐林として今日に至っています。カシ、シイなどの照葉樹林が幾度の強風にもめげず、見事な樹相を構成して、訪れる人を古代へと誘います。吹き抜ける風が樹々の小枝をゆすり、時を越えて先人が語りかけてくるようです。頂上付近まで車道が整備され、身近に森に親しむことができますようになりました。春には、車道沿いに桜花のトンネルが続き、山頂からは、東南に不知火海、南に東シナ海を一望でき、風光明媚な景勝の地です。

春と秋の年2回の大祭日には、近郊近在からの参拝者が訪れ、賑います。

